

平成29年9月30日

(公社) 砂防学会関東支部 平成29年度現地検討会の実施概要報告

関東支部長 石川 芳治

関東支部では、平成29年度現地検討会を平成29年9月29日(金)に開催いたしましたので、その概略を報告致します。

9月29日は快晴に恵まれ、秋晴れの中、予定通りに現地検討会を開催することができました。

参加者は合計36名で、東武鬼怒川線の「鬼怒川温泉駅」に12時30分に集合いたしました。「鬼怒川温泉駅」からは貸し切りバスで栃木県日光市芹沢地区に行きました。芹沢地区の入口において国土交通省関東地方整備局日光砂防事務所の根津昭事業対策官様、工務課秋元裕建設監督官様から平成27年9月の関東・東北豪雨による日光市芹沢地区の土石流災害の概要ならびに被災直後に実施された応急対策、ならびに再度災害を防止するために実施された災害関連緊急砂防事業等による土石流・流木対策施設の概要についてご説明を頂きました。その後、バスで芹沢地区内に入り、災害後に建設された土石流・流木対策施設の「下坪沢砂防堰堤」、「下坪上沢砂防堰堤」、「滝向沢砂防堰堤」、ならびに工事中の溪流保全工の現場で、災害直後の写真や状況を交えて土石流・流木対策施設の計画・設計・施工について説明を頂きました。災害直後の状況に比較して砂防堰堤が完成し、その下流の流路の整備も進んでおり芹沢地区の安全度は各段に向上していることを実感しました。災害後の緊急対応、災害後の迅速な砂防堰堤工事の実施過程等につきましてご説明をいただいたことは参加者にとっては大変に良い勉強になり、今後の土石流・流木対策に役立てていただければと思います。その後、バスで「鬼怒川温泉駅」に戻り、15時50分に解散致しました。

今回の現地検討会では、国土交通省関東地方整備局日光砂防事務所の三輪賢志所長様、根津昭事業対策官様、工務課秋元裕建設監督官様には日程調整、準備、運営、現地での工事のご説明等につきまして多大なご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございました。さらに、現地検討会の運営には多くの皆様からご支援、ご協力いただきました。心より感謝を申し上げます。



写真-1 国土交通省関東地方整備局日光砂防事務所の根津昭事業対策官様、工務課秋元裕建設監督官様から災害および土石流・流木対策施設に関する概要の説明を受ける参加者



写真-2 下坪沢砂防堰堤（高さ 14m、長さ 48.5m）



写真-3 下坪上沢砂防堰堤（高さ 10.5m、長さ 50m）



写真-4 滝向沢砂防堰堤（高さ 13.5m、長さ 56m）